

平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立八雲小学校）

平成30年9月25日

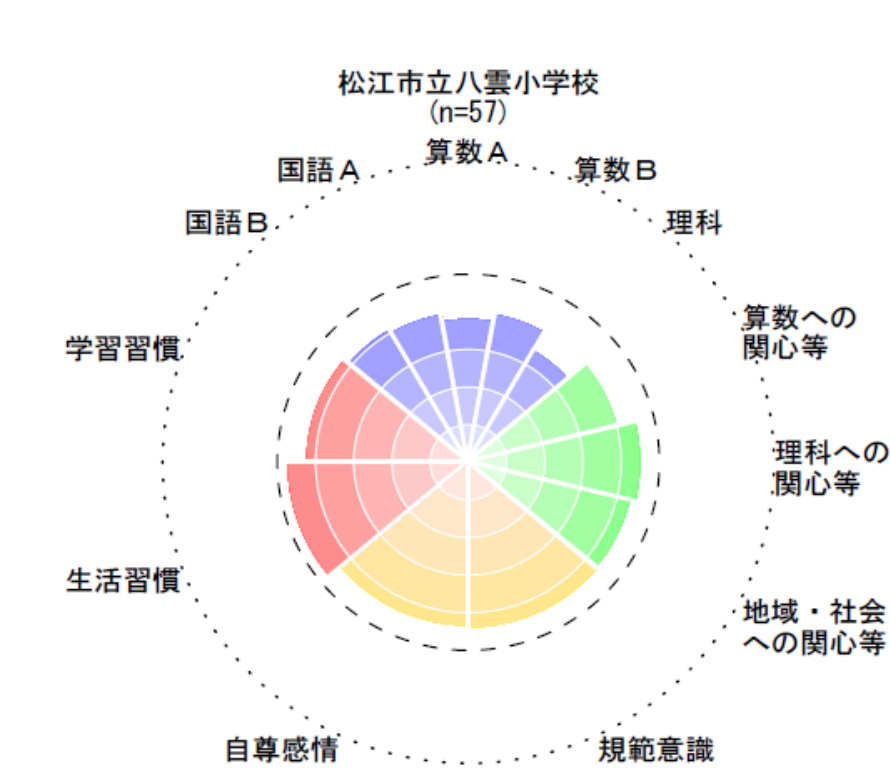
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
国語	A (基礎)	○学校生活の目標の一つである敬語の正答率が高い。 ●問題をを理解するのに時間がかかるため，設問の後半になると無解答の児童が増える。	・複数の情報から総合して考えを導き出す学習を設定する。 ・わかったこと，条件を活用するなどの学習形態を国語科を中心に他教科でも実施する。
	B (活用)	●記述式の問題において，条件にあった記述の方法をどうすればよいのか判断できていない。	
算数	A (基礎)	○単位量あたりなどの公式が理解できている。 ●問題が長文になると途中で回答する意欲を失い，あきらめてしまう児童がいる。	・根拠(既習事項など)を述べたり，手順を説明したり，図に表したりする活動を取り入れる。 ・授業中の子どもの会話やつぶやきを取りあげ，その意味を話し合う授業を設定する。
	B (活用)	●既習事項のどれを利用して解答する問題なのかを読み取ることができない。	
理科		○理科の学習に興味をもち，実験や観察に対して，積極的に取り組む児童が多くいる。 ●実験などを通してわかったことを自分のことばで周りの人に伝えることが苦手と感じている児童が多くいる。	・根拠を述べたり，手順を説明したり，図に表したりする活動を取り入れる。 ・用語を積極的に活用し，記述したり，説明したりする授業を増やす。

(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○：成果，●：課題)	対 策
○地域の行事に積極的に参加したり，地域について調べたり，それを発表したりする機会が多いと回答している児童が多くいる。 ●家庭学習を1時間以上行っている児童の割合が半分いない。 ●学習②必要な準備ができていない児童が一定程度いる。	・家庭学習の意義や取り組み方がわかっているかなど児童の実態を再度確認し，家庭学習の取り組み方や家庭生活のみなおしを行う。 ・準備ができない原因を全職員で究明すると共に，家庭の協力が得られるように連携を図る。

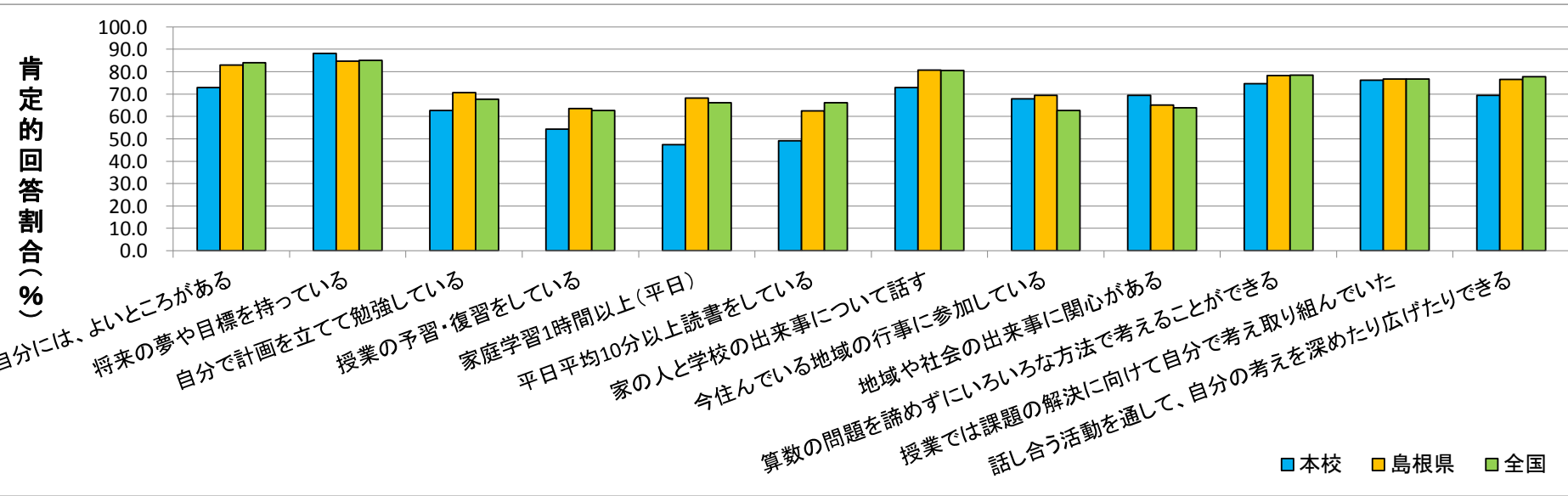
(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・毎月行っている書き取り会，計算会において，本校の課題解決につながる問題設定を行う。 ・1日の読書量が10分以下の児童が半分いるので，読む力をはぐくむためにも図書館教育と関連付けながら積極的に進める。

(3) 意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



【参考】

○平均正答率

		本 校	松江市	島根県	全国
国語	A	62	70	68	70.7
	B	46	57	55	54.7
算数	A	53	62	61	63.5
	B	42	50	49	51.5
理科		49	59	58	60.3

受検者数 57 人
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。